

## くすのき



## 心からの「ありがとう」を込めて ～6年生を送る会～

卒業を目前に控えた6年生に対し、在校生が感謝の気持ちを表す「6年生を送る会」が行われました。単なるお別れ会ではなく、下級生にとっては「6年生のような立派な姿になりたい」という憧れを抱き、6年生にとっては「自分たちの足跡を後輩に託す」という、バトンタッチの大切な行事です。

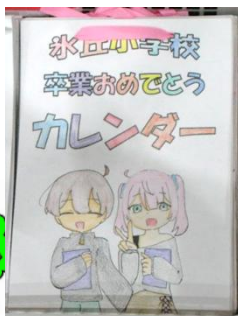


各学年が、6年生への感謝を込めて合唱や合奏を披露し、ゲーム対決もしました。元気いっぱいの歌声、ステキな演奏、贈る言葉のパフォーマンスなど、6年生は嬉しそうに見入っていました。



4年生が対決を挑んだのは、クラス対抗で縄跳び・ハの字、スプーンリレー、バトンパスリレー、ダンス対決。6年生も楽しく精一杯挑戦を受け、真剣勝負の中にも笑顔が溢れ、学年を越えた絆がより深まった時間となりました。

在校生から6年生へ、手作りのカレンダーが手渡されました。このカレンダーは、まず原案のデザインを描き、それをもとに各学年の児童が分担して、一色一色丁寧に心を込めて色塗りし、一冊の形にまとめ上げた、全校児童の想いが詰まったカレンダーです。中学校という新しいステージでも、後輩たちのエールを身近に感じながら、一日一日を自分らしく刻んでいってほしいという願いが詰まっています。



最後に、児童会役員の引継ぎをしました。新しい役員の5年生・4年生の10名のみなさん、よろしくお祈りします。

